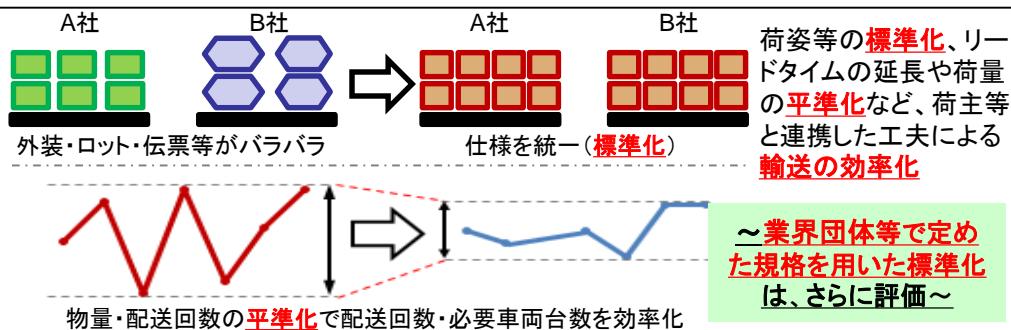
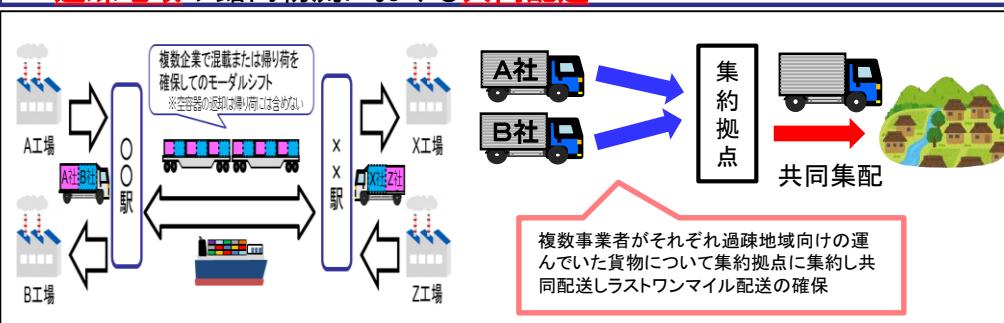


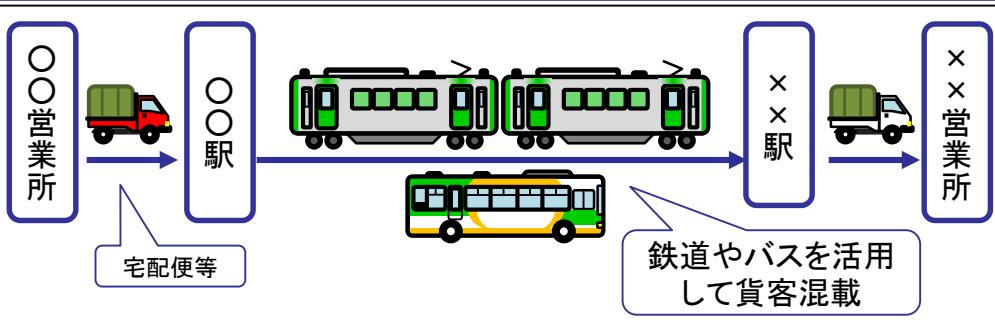
A) 荷主や輸送事業者等の連携・工夫による輸送の効率化



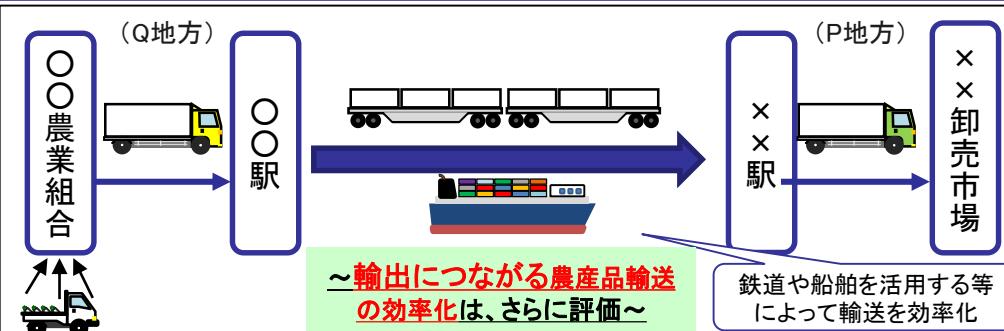
B) 複数企業による混載または帰り荷を確保したモーダルシフトや、過疎地域や館内物流における共同配送



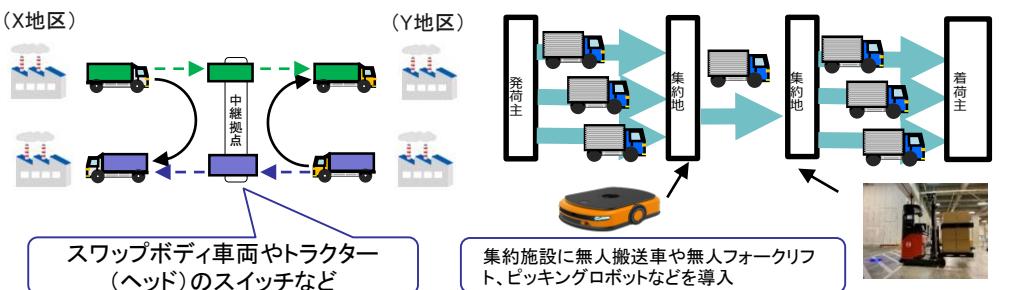
C) 旅客鉄道やバス等の空きスペースを活用した貨客混載



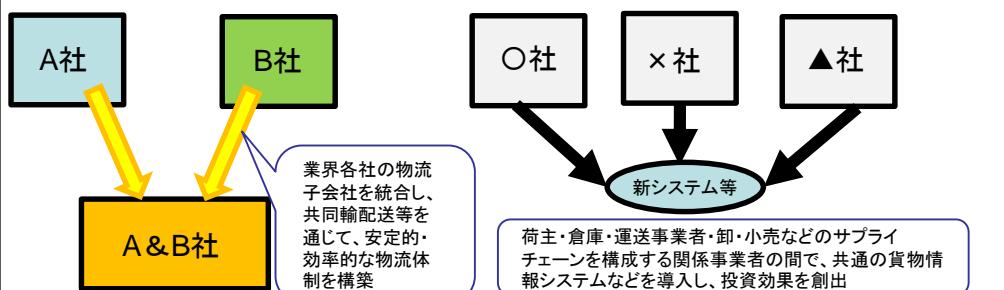
D) 鮮度保持コンテナの活用等による農産品輸送の効率化



E) スワップボディーコンテナ車両等を活用した中継輸送や、流通業務への省人化・自動化機器を用いた輸送の効率化



F) 物流企業内や企業間の事業再編、企業間の協調的投資を伴う輸送の効率化



※上記のような案件を重点施策として優先的に採択するが、これ以外の物流効率化に資する案件も採択対象とする。